

2004年度 ハイライト

循環型社会の実現に向けて、川崎重工グループは“ Think globally, Act locally ”(着眼大局、着手小局)を合言葉に、着実に取り組みを進めています。

環境経営

(P7 ~ P11)

オフィス部門や関係会社のEMS構築が進捗

2010年環境ビジョン「川崎重工グループ全体でEMSを展開し、活動している」の実現に向けて、国内の主要関係会社でのシステム構築を推進中です。

2005年3月に、神戸本社が「神戸環境マネジメントシステム(KEMS)」の認証を取得しました。



KEMSの認証マーク

神戸本社

Kawasaki 環境ハンドブックを発行

2005年3月に、社内環境教育の一環として、「環境ハンドブック」を発行しました。



Kawasaki
環境ハンドブック



環境配慮製品

(P13 ~ P20)

環境にやさしい「水素社会」に向けて、 インフラ整備に貢献

水素は、燃やしても水しか排出しないクリーンなエネルギーです。当社では、H- ロケット用液化水素貯蔵供給所をはじめとする数多くの超低温技術の実績を生かし、「液体水素コンテナ」や「液体水素タンカー」等の開発、検討を行っています。



液体水素コンテナ

電力消費量を1 / 20以下にする アルミ合金の新接合技術を開発

当社は、アルミ等の軽合金の接合に、摩擦熱を利用して接合部を軟化し、部材を混ぜ合わせて接合する新しい接合技術(FSJ)を開発、ロボットの製品化もしています。従来の抵抗スポット溶接に比べて、電力消費量は1 / 20以下と大幅に低減しています。



専用ガンと多関節ロボットを組み合わせたシステム例

環境配慮生産

(P21~P22)

岐阜工場でガスタービン コージェネレーション稼働

2004年8月、岐阜工場はガスタービンコージェネレーションシステムを導入しました。電力・水蒸気等トータルエネルギー効率を上げ、CO₂発生量を14%削減できる見込みです。



コージェネレーション設備



竣工式の模様

川崎重工の全工場でゼロエミッションを達成

岐阜工場と八千代工場でゼロエミッションを達成し、当社の全工場がゼロエミッションを達成しました。



岐阜工場



八千代工場

社会との共生

(P23~P26)

人道的地雷除去システム「BULL DOG」が 実用化に向けて大きな一歩

対人地雷を探し出して掘り起こし、爆破する「BULL DOGシステム」のアフガニスタンの地雷原での実証テストが完了しました(2004年6月~2005年2月)。



地雷探知車「MINE DOG」



地雷除去車「MINE BULL」

大規模災害への対応に取り組む

大規模災害の発生時には、迅速に支援活動を行うためにも社員や家族の安全確認が急務になります。そこでインターネットと電話を活用した「安否情報システム」を開発しました。

